

さだまさし

* 昭和27年4月10日

長崎市生まれ



○ 略歴

バイオリン修業のため中学時代に上京

昭和47年 吉田政美とグレープ結成
(20歳)

昭和49年 日本情緒あふれる曲調の「精霊流し」が大ヒットし、一躍スターになる
(22歳)

以後、日本レコード大賞5回（金賞、作詞賞など）を筆頭に、数多くの音楽賞を受賞し、日本を代表するシンガーソングライターに

昭和55年 映画「翔ベйкаロスの翼」主演、音楽監督
(28歳)

昭和56年 映画「長江」監督、主演
(29歳)

昭和62年 8月6日、長崎から広島に向かって歌う無料平和祈念コンサート「夏・長崎から」を開催 以後毎年開催し、全国からファンが集まる
(35歳)

平成13年 自伝的処女小説「精霊流し」を発表 のちTVドラマ化、映画化される
(49歳) 以後「解夏」「かすていら」「はかぼんさん」「ラストレター」「風に立つライオン」など11作品を発表。うち8作品が映像化

平成14年 児童書「おばあちゃんのおにぎり」でひろすけ童話賞受賞
(50歳) 小説第2作目「解夏」発表 のち映画化、TVドラマ化
(ドラマタイトル「愛し君へ」)

平成15年 長崎市に平和を祈念する「ナガサキピースミュージアム」開館
(51歳)

平成18年 8月6日、20回目で最後の「夏・長崎から」を行う
(54歳)

平成27年 「ちゃんぽん食べたかっ！」を発表 NHKでドラマ化される
(63歳) 全国コンサートツアーを毎年開催しながら、作家としての活動も続けている

○ 主な受賞歴

平成14年 第13回ひろすけ童話大賞 「おばあちゃんのおにぎり」

○ その他の代表作

時のほとりて(昭55)、まほろばの国で(平15)、眉山(平16)

本気で言いたいことがある(平18)、もう愛の唄なんて詠えない(平19)

茨の木(平20)、アントキノイノチ(平21)、はかぼんさん 空蝉風土記(平24)

かすていら 僕と親父の一番長い日(平24)、風に立つライオン(平25)